

■ 亀田クリニック事務室 医事課

1. 2021 年度の目標及び方針

1. 財務の視点（診療報酬改定に伴う算定機会の創成。受診者数増加による収益向上）
2. 顧客の視点（システム導入による受診利便性の検討と推進。C I S + 導入に伴う運用構築）
3. 内部プロセスの視点（J C I 審査・I S O 審査の対策。全業務の効率化の推進）
4. 学習と成長の視点（業務連携の推進によるスキルアップとクオリティの推進）

[会計・請求]

- * 1 時間あたりの会計処理件数を（火曜日 10:30～11:30）4 0 0 件→3 6 0 件。
- * 診療報酬算定向上に努める。

[総合受付・予約センター]

- * 保険資格に関するレセプト返戻件数を月 5 0 件以内とする。
- * 電話受理件数 前年度比 2 % 増。

[ブロック受付]

- * ペーパーレス化、各診療科窓口の人員縮小を図る。
- * ブロック別案内誤り（説明不足） 月 1 5 件以内。

[入退院相談室]

- * 入院予約受入時の各病棟（1 日）受入をコントロールし、増患対策を追求する。
- * C I S + システム導入と既存業務（病棟システム）のすり合わせを行い、利便性を検討する。
- * 患者さま一人 1 0 分以内で手続きを終わらせる。

[庶務]

- * 書類の預かり件数に対して、2 週間以内の完成率を 8 6 . 5 % 以上になるよう努める。

2. 2020 年度評価

[財務の視点]

- * 2 0 2 0 年診療報酬改定対応、運用の見直し、内服薬 7 種類以上通減の削減など 4 8 6 4 万増収。
- * レセプト減点査定、保険返戻の削減。

[顧客の視点]

- * 業務改善による会計処理件数の向上、電話受理件数の向上、各種待ち時間の削減。
- * オンライン診療の運用構築と対応。

[内部プロセスの視点]

- * 業務改善により残業時間前年比 2 2 % 削減。
- * レセプト審査システムの有効活用によるスタッフ負担の軽減。

[学習の成長の視点]

- * 教育計画によるスキルアップ、委員会及び Q C 活動による意識改革。
- * 関連医療機関へのサポート強化と指導育成。

3. 年間活動内容

[システム化とペーパーレス化の推進]

- * 外来基本カードの裏面印刷による作業負担の軽減とペーパーレス化。
- * オーダーリング化の推進（臨床心理、内視鏡、画像、手術、眼科検査など）。
- * 外来迅速検体検査加算の自動算定化と厚生局コンプライアンス対応。
- * 画像系部位コメントの自動発生化による業務量の改善。

[課外業務等への参加]

- * 発熱外来の支援。
- * 新型コロナワクチン感染対策業務への参加。
- * 関連医療機関の厚生局個別指導支援。
- * 厚生局指導に基づく医師への情報提供と運用構築。
- * オンライン診療による薬剤梱包作業への参加。
- * 財務監査法人の監査対応。
- * 各種委員会やプロジェクトへの参加。

文責：井上 暢之